



Title	インドネシア語における動作継続と結果残存の表現
Author(s)	原, 真由子
Citation	EX ORIENTE. 2026, 30, p. 25-33
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/104283
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

インドネシア語における動作継続と 結果残存の表現

原真由子

0. はじめに

本稿では、日本語のテイル形で表される〈動作継続〉および〈結果残存〉という概念に焦点を当て、インドネシア語ではどのような形式で表出されるのかを検討するため、許 [1997] による「絵描写タスク」を用いて行ったパイロット調査の結果を報告する。

1. 基本情報

インドネシア語は、オーストロネシア語族西部インドネシア語派に属する言語であり、インドネシア全国で広く用いられているインドネシア共和国の国語である。また、インドネシアでは民族や地方によって、約 700 とも言われる多数の言語が話され、インドネシア語は共通語としての機能も果たす。このような状況のもと、大多数のインドネシア人は、母語である民族語（地方語）を第一言語とし、インドネシア語を第二言語として用いる二言語話者であるが、都市部と若年層を中心にインドネシア語の単一言語話者も認められる。インド

ネシア語の第一言語としての話者数は約 7000 万人²であるが、第二言語としての話者数を含めると、かなりの数になる。

インドネシア語は、主語－述語を基本的語順とし、SVO 型言語である。また、形態論では膠着語の特徴もあるが、語形変化はあまりない。本稿のテーマに関わる時制とアスペクトは文法形式ではなく、動詞などの形式においてそれが反映されず、文脈や時の副詞によって判断される。また、アスペクトは主に助動詞によって示され、*sudah*（完了）、*belum*（未然）、*akan*（予定）、*mau*（予定）、*masih*（継続）、*sedang*（進行）などがある。しかし、時制と同様に、やはりアスペクトも文脈や時の副詞があれば助動詞が必ずしも用いられるとは限らない。本稿で取り上げる *sedang*（進行）も、進行中の動作の場合に必ず述べられるわけではない。

2. 調査結果：5つの事象に対する表現

インドネシア語母語話者（女性、40代）1名に、絵描写タスクの絵パネル[許 1997]に見られる5つの事象をインドネシア語で表現してもらった。

2.1 〈子どもが川で遊んでいる〉

インドネシア語では、まず(1)のように表現された。「遊んでいる」は *bermain*「遊ぶ」という動詞のみで示されている。上述したように、インドネシア語では時制とアスペクトの必須の文法形式はなく、動詞は文脈によって動作継続にも解釈される。

- (1) *Anak-anak bermain di sungai.*
 children play in river
 「子どもたちが川で遊んでいる／遊んでいた。」

さらに(2a)や(2b)のような表現も可能であるという回答が得られた。進

行の助動詞 *sedang* を用いる (2a) は、明確に動作継続を表す際、例えば実況するような場面で、副詞 *sekarang* 「今」が含まれる (2b) は、動作継続を明確に表す場合に可能である。

- (2) a. *Anak-anak sedang bermain di sungai.*
 children PROG play in river
 「子どもたちが川で遊んでいる最中である。」
- b. *Sekarang anak-anak (sedang) bermain di sungai.*
 now children PROG play in river
 「今子どもたちが川で遊んでいる（最中である）。」

2.2 〈カップルが座っている〉

この例は〈子どもたちが川で遊んでいる〉と同じように、まず「座っている」は (3a) に示すように *duduk* 「座る」という動詞のみで表された。また、動作継続を明確に表す場合は、(3b) と (3c) のように助動詞 *sedang* や副詞 (*sekarang* 「今」など) を用いることが可能であるという結果が得られた。

- (3) a. *Anak muda yang berpacaran duduk di bangku.*
 child young who/which date sit in bench
 「若いカップルがベンチに座っている。」
- b. *Anak muda yang berpacaran sedang duduk di bangku.*
 child young who/which date PROG sit in bench
 「若いカップルがベンチに座っている最中である。」
- c. *Sekarang anak muda yang berpacaran (sedang) duduk*
 now child young who/which date PROG sit
di bangku.
 in bench
 「今若いカップルがベンチに座っている（最中である）。」

2.3 〈電気がついている〉

〈電気がついている〉という事象については、インドネシア語ではまず (4) のように表現された。「遊んでいる」と「座っている」と同様に、*hidup* という動詞のみで表されている。この文のみでは動詞 *hidup* は「つく」と「ついている」の両方の可能性があるが、文脈によってどちらなのかが判断される。

(4) *Lampu-nya hidup.*

light-the live

「電気がついている／ついた。」

(5a) のように進行の助動詞 *sedang* を使うことができるかどうかを尋ねると、やや違和感があるという回答であった。ただし、(5b) のように「～の時」や「～の間」といった範囲が設定されると、許容度が上がるとのことであった。また、(5c) に示すように、*sekarang* 「今」といった副詞も共起可能であるが、(4) と同様に「今ついている」と「今ついた」の2つの可能性がある。

(5) a. ? *Lampu-nya sedang hidup.*

light-the PROG live

「電気がついている。」

b. *Kerjaan PR, mumpung lampu-nya sedang hidup.*

do homework when light-the PROG live

「宿題をしてしまいなさい、電気がついている間に。」

c. *Sekarang lampu-nya hidup.*

now light-the live

「今電気がついている／ついた。」

2.4 〈お金が落ちている〉

〈お金が落ちている〉事象について、まず (6) が示すように、動詞 *jatuh* の

みで表現された。この文のみでは「落ちた」（単純な動作の結果）と「落ちている」（結果残存）の両方の可能性があるが、文脈でどちらなのかが判断される。

- (6) *Uang-nya jatuh di lantai.*
 money-the fall/fallen at floor
 「お金が床に落ちている／落ちた。」

また、副詞も判断の手段となる。(7a) のように動詞 *jatuh* 「落ちる」に *baru tadi* 「ついさっき」といった過去の一点のみを示す副詞が共起すると「落ちた」となり、一方 (7b) が示すように *sekarang* 「今」のような時間の幅がありうる副詞が共起すると「今落ちた」と「今落ちている（のが残っている）」の両方の可能性がある。

- (7) a. *Baru tadi uang-nya jatuh di lantai.*
 just some.time.ago money-the fall at floor
 「ついさっきお金が床に落ちた。」
 b. *Sekarang uang-nya jatuh di lantai.*
 now money-the fall/fallen at floor
 「今お金が床に落ちている／落ちた。」

なお、(8) のように進行の助動詞 *sedang* を用いると〈お金が落ちている〉という結果残存の意味を表す場合は非文となる。ただし、「まさにお金が床に落ちているところである」という動作継続の意味では正しい文となる。このように助動詞 *sedang* は結果残存の意味には用いることができない。

- (8) * *Uang-nya sedang jatuh di lantai.*
 money-the PROG fall/fallen at floor
 「お金が床に落ちている（＝まさにお金が床に落ちているところだ）。」

2.5 〈窓が割れている〉

この例は〈お金が落ちている〉と同様に、まず (9) が示すように、動詞 *pecah* のみで表現された。この文のみでは「割れた」(単純な動作の結果)と「割れている」(結果残存)の両方の可能性があるが、文脈でどちらなのかが判断される。

(9) *Jendela-nya pecah.*

window-the break/broken

「窓が割れている／割れた。」

また、やはり副詞も判断の手がかりとなる。(10a) のように動詞 *pecah* 「割れる」に *baru tadi* 「ついさっき」といった過去の一点のみを示す副詞が共起すると「割れた」となり、一方 (10b) が示すように *sekarang* 「今」のような時間の幅がありうる副詞が共起すると「今割れた」と「今割れている(のが残っている)」の両方の可能性がある。

(10) a. *Baru tadi jendela-nya pecah.*

just some.time.ago window-the break/broken

「ついさっき窓が割れた。」

b. *Sekarang jendela-nya pecah.*

now window-the break/broken

「今窓が割れた／割れている。」

なお、(11) のように進行の助動詞 *sedang* を用いると〈窓が割れている〉という結果残存の意味を表す場合は非文となる。ただし、「まさに窓が割れているところである」という動作継続の意味では正しい文となる。このように助動詞 *sedang* は結果残存の意味には用いることができない。

(11) * *Jendela-nya sedang pecah.*

window-the PROG break/broken

「窓が割れている（＝まさに窓が割れているところだ）。」

3. 考察

以上、日本語でテイル形で表現する5つの事象について、インドネシア語ではどのように表現されるかを見た。それを日本語と対比し示したのが表1である。

表1 日本語とインドネシア語の動作継続と結果残存

日本語		インドネシア語		
遊んでいる	動作継続	<i>bermain</i> 遊んでいる／遊ぶ	<i>(sedang) bermain</i> 遊んでいる	<i>sedang</i> OK
座っている	結果残存	<i>duduk</i> 座っている／座る	<i>(sedang) duduk</i> 座っている	<i>sedang</i> OK
ついている	結果残存	<i>hidup</i> ついている／つく	<i>(?sedang) hidup</i> ついている	<i>sedang</i> OK
落ちている	結果残存	<i>jatuh</i> 落ちる／落ちている	<i>*sedang jatuh</i>	<i>sedang</i> NG
割れている	結果残存	<i>pecah</i> 割れる／割れている	<i>*sedang pecah</i>	<i>sedang</i> NG

表1からわかることは次のとおりである。日本語では、動作継続と結果残存いずれにおいても同一の形式であるテイルを用いるのに対して、インドネシア語では基本的には動作継続でも結果残存でも専用の形式はなく、文脈や副詞に委ねられる。ただし、助動詞 *sedang* を用いることで *bermain* 「遊ぶ」、*duduk* 「座る」などの活動動詞は動作継続をより明確に示すことが可能である。一方、*jatuh* 「落ちる」、*pecah* 「割れる」といった変化動詞の場合は助動詞 *sedang* を共起させることができない。

4. まとめ

このように、本稿では、インドネシア語では時制とアスペクトを表す文法形式を持たず、日本語のテイル形に相当する動作継続や結果残存の文法形式はなく、基本的には文脈や副詞で表されることを示した。そして、動作継続については、進行の助動詞 *sedang* も用いることができるが、義務的な要素ではなく、「まさにその最中である」ことを明確にする効果を持つこと、一方変化動詞や瞬間動詞には助動詞 *sedang* を使えないことを示した。

また、助動詞 *sedang* はいわゆる活動動詞の他に、状態動詞や形容詞とも共起することがわかっており、今後の課題としてはどのような事象に用いることができるか、さらに調査する必要がある。

[謝辞]

本稿は、科研費（課題番号 21H00526、課題番号 21K00745）による研究助成の一部である。Cynthia Vientiani 先生（大阪大学特任教員）には本調査に際し多大なご協力を賜った。ここに深く感謝の意を表する。ただし、本稿における誤りや不備はすべて筆者の責任によるものである。

[略号一覧]

PROG: progressive

[注]

- 1 SIL による Ehnologue オンライン版に基づく、インドネシアでは現在 703 言語認められる。
- 2 Badan Pusat Statistik（インドネシア統計局）によると 5 歳以上のインドネシア人では 71,971,184 人が第一言語としてインドネシア語を習得している。

[参考文献]

許夏珮

1997 「中・上級台湾人日本語学習者による『テイル』の習得に関する横断的研究」『日本語教育』95, 37-48。

Eberhard, David M., Gary F. Simons, and Charles D. Fennig (eds.)

2025 *Ethnologue: Languages of the World. Twenty-eighth edition.* SIL International, Dallas, Texas.

Online version: <https://www.ethnologue.com/country/ID/>, 閲覧日：2026 年 1 月 5 日。

Badan Pusat Statistik (n.d.)

Jumlah Penduduk Berumur 5 Tahun ke Atas Menurut Wilayah, Jenis Kelamin, dan Bahasa yang Pertama Kali dikuasai, Indonesia, Tahun 2022. <https://sensus.bps.go.id/topik/tabular/sp2022/198/1/0>, 閲覧日：2026 年 1 月 5 日。